

の幸運を祝するもの、所以なきに非ざるを知る。

通過の時期は、之を年中二回に分つ、即ち第一期を四月末より六月初め迄とす、該時期は融雲の初期に屬し、溪水量未だ多からず。第二期を九月十月の間とす、此兩月は、雪水減少、氣候も亦未だ寒烈に至らざるに因る。而して第二期後より、第一期前迄は、氣候極寒、降雪多量の爲めに、又七、八月間は、溪水多量の爲めに、通過すべからざるなり。要するに吹雪の外は、一に溪水の減少時期を擇ぶに在れば、年に因りて或は多少の遲速を免れざるが、予は九月十五日を以て葉爾羌を發し、十月二十七日スリナガルに到着す。即ち第二の通過期を採りしものなるが、其れすらカラコルム嶺北にて二三箇所の溪水徒涉に際し、深く馬腹を沒し、辛ふじて渡河するを得、又ゾジラル嶺附近にては、降雪の爲め頗る困難したり。

葉爾羌よりレーに到る約三十日の行程中、其の十六日間は無人の境、生物として棲息するは、單に狼豺、鷲、鴉鳩の類のみ。又處に因り「バルゴン」と稱する灌木叢生せり。該灌木は生木の儘打て薪材と爲すべく、其茅は馱獸の食と爲るも、草少なきが爲め已むを得ず食ふものとす。然れども駱駝は之れを嗜好すと云ふ。無人境の